

7月6日5限の、狩野先生による「公務員試験対策」の授業見学に参加いたしました。今回は面接対策という、今後担当するかもしれないところと重なるところであったことに加え、今まで授業で扱ったことのない分野であったこともあり、いろいろと気づくところがありました。

この日は実際の面接で頻繁に聞かれるポイントへの答え方が学習内容でした。狩野先生は、きちんと教科書に書いてあることを授業に歯切れよく反映されておられました。面接対策のやり方として、教科書を読み、重要と思われる個所に線を引いておき、それを記憶したうえで教科書を見ながら答える練習をされていました。そしてさらに発表してもらい、丁寧にコメントをされていました。また、小論文の授業で使ったテキストから回答のヒントを学生に示すなど、これまでの授業内容とよく連動していることがうかがえました。

実際に答える練習をすることは大切だと思っておりましたが、「面接も暗記が大切です」と学生に伝え、面接の要点と約束事をきちんと理解するよう促しておられました。答えるべき要点、気を付けるべきこと、あるいは答えるべきでない点をきちんと理解して記憶して、その上で自分独自の答えを出すように指導することが大事で、「何でも自分の独自性を出せばよいというのではない」、という鉄則を何度も示しておられ、このことをわかってもらう必要があるのだと改めて感じました。また、回答例を示すときも教科書の記述に忠実で、具体的であり、学生にとっても親切な内容だったと思います。

今回のテーマでは、学生の独自性が出やすいところではなかったかと思いますが、質問毎に自分の独自性を出す度合いが理解されねばなりません。質問によってそれは濃淡がついてくるのですが、そんな濃淡も理解させていかねばならないと思いました。